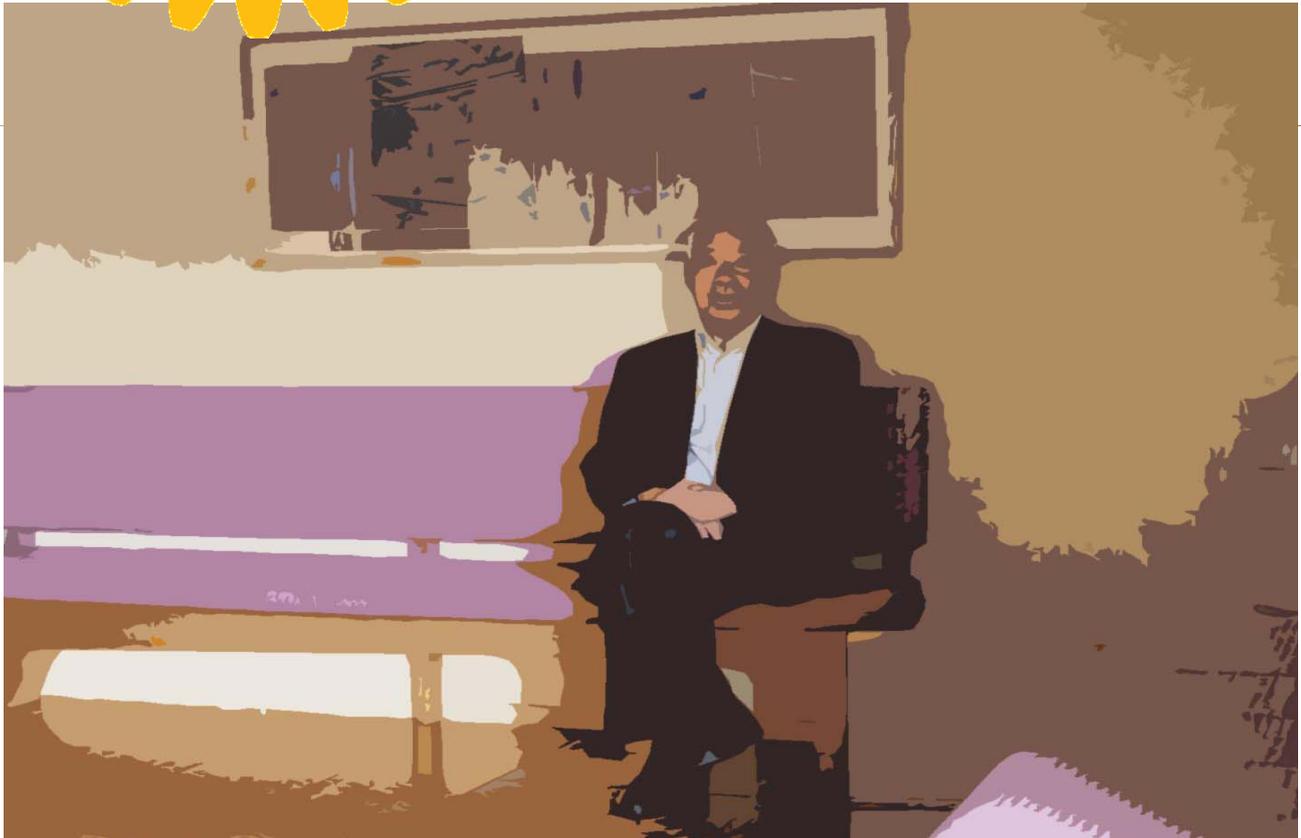


Rotary International District 2700 Fukuoka North Rotary Club
国際ロータリー第2700地区 福岡北ロータリークラブ

SPECIAL REPORT

週報別冊特別版



創設会員手記

「福岡北RCでの33年間、
そして今クラブに思うこと」

森本 茂雄

福岡北ロータリークラブ 森本 茂雄

入会

ロータリークラブのロの字も知らなかった私に役所（国交省）を辞めて会社（建設会社）に就職して間もない時、城西クラブ（北クラブ創立ホストクラブ）会員だった支店長からロータリークラブ入会を云われ、その時の一言が「出席が大変だが休んでも辞めさせはしないから」でした。私も入会すれば「いいんだな」と思っただけでした。

イニシエーションスピーチ

五十名で発足したわがクラブですが、平野特別代表と城西クラブからの五名以外はロータリークラブの未経験者ですから、最初の一年は全員、歌を唄うことから、定款・細則、委員会の役割等の説明・卓話で毎週勉強することが続きました。今は、新会員は入会して間もなくイニシエーションスピーチを行います、その様な状況でしたから新会員のイニシエーションスピーチは有りませんでした。尤も新会員がイニシエーションスピーチを皆でやっていたら、それだけで一年掛かってしまいます。

木より人そして質素

福岡市の植物園を歩くと一本木を植えてクラブの名を記した石造碑が目につきます。当クラブが設立された頃は、バブルの時代で日本中、目に余る事が増えていた頃でした。そうした背景の中で、平野特別代表は「木を育てるより人を育てよう」として、質素なクラブを指そうと、折にふれよく話されました。第十四回ボーイスカウトの設立に努力したのもその一つですが、市内の小学校に読本（子どもたちへ）を送る等様々な工夫をしました。例会場はビジネスホテルのセントラルホテルでした。セントラルホテルではメイクアップ費は割安（八百円から始まり）だったので大勢のメイクアップの人達にきて貰いました。

除名

会社勤めが東京本社での仕事が多くなり、東京始め出張先でのメイクアップが増え次第にホームクラブでの出席が減った或る時、平野特別代表から「お前、ホームクラブの出席率三十%が危ないよ。三十%切ったら除名だからな。メイクアップはちゃんとやっておられるから良いけれど」と云われ、我が身の実態を知らされませんでした。以後、東京・福岡の往復を繰り返して除名されずに済みました。お蔭でJALと仲良くなつて便利な旅を今も続けています。

家族忘年会

発足して半年目の初めての忘年会で、私は親睦委員でした。当時、クラブの事務局の仕事は平野特別代表の平野内科病院の事務員の方々が処理して頂いていました。それで、事務経費が節約されていたこともあってか、忘年会に対して百万円の予算が支出されました。この予算のお蔭で委員会では、子供達に沢山のクリスマスプレゼントを準備し、また、ゲームをやることにして

色々な景品を揃えました。二時間たっぷり楽しんで会員の親睦が少し進んだ様でした。

夜間例会

発足して暫く経ち会員にも慣れが出来て、夜間例会を原鶴温泉で開催することにし、出かけて行って楽しく飲み、温泉気分を味わいました。しかしクラブに帰ってみると、待ち受けていたのは新家パストガバナーの厳しいお叱りでした。「夜間例会はそもそもロータリーの事を皆で話し合う場であるのに飲んで騒ぐとは何事か」と云う事でした。その後、申し合わせて一年間夜間例会を自粛しました。

地区大会

前年の地区大会博多クラブのホストクラブになって経験を積み、自信を持って大会に臨みました。新しい事と云うことで、今迄、福岡での地区大会が多く開催されて来たサンパレスに変えて、多少不安もありましたが出来たばかりのアクロス福岡を会場に選びました。結果は成功して終わりましたが、その過程で物議をかもし一人の人（後に除名処分）に皆悩まされました。私も夜中に度々電話を受け大会の思い出としては先ずこれらの事が思い出されるのです。

メイクアップ

第四代会長の田中会長（故人）の話の中で、一番高く費ったメイクアップの話がありました。プラントメーカーの社長だった彼は世界中廻る中でアメリカのマイアミでメイクアップが必要になり、例会場に駆け付けたところタクシードが二十四万円費ったと云うことでした。私の思い出では、バンコクのクラブでの卓話が丁度日本へ研修に行った警察官の帰国報告で、写真等を使って日本の交通管理の優れている所を熱く話されていて、外国のクラブで日本の話を聞くのは思いがけないことでした。

出席率

入会して暫くして別府のクラブにメイクアップした時、クラブでの委員会報告で出席委員が「クラブの百%出席は二年〇ヶ月続いています。更に記録を伸ばしましょう」と訴えていました。私はこんなクラブが在るのかと以後、出席率が頭に在る様になりました。わがクラブも他クラブの出席率との比較もあって、出席率を上げようという雰囲気が高まり、出席委員が欠席会員に声を掛け出席を促しました。その結果、百%出席が一年、二年と続きましたが五年目を迎えた頃から、皆少し負担を感じるようになり、記録が途絶えた時は「ホットとしたな」と言う囁きも聞かれました。

米山奨学委員会

九大院の米山奨学学生のカウンセラーを担当し、彼の研究内容が地盤工学なので関連があると思われる現場を案内したりしました。その時の大学での担当教授が江崎現会員です。順調に研究も進み博士号も取得し、卒業と云うことで御両親がインドネシアから見えたのですが式の前日に父親が倒れて急遽入院と云うことになり、調べてみたのですが保険の適用が駄目でクラブにお願いして寄付を集めて頂き、急場を凌ぎました。

同好会

当クラブの最初の同好会はゴルフです。次に出来たのが野球です。それ以外にも囲碁を数名で暫く星の取り合いをしました。棋会所で開催する迄には至らず休止となりました。旅行・麻雀・釣りの各クラブも設立はされています。親睦委員会が頑張つて麻雀大会とカラオケ大会もそれぞれ一回開催されました。

会長

前任の亀崎会長から「断らずに会長もやっていた方が良いよ」と云われて、私が会長（一九九八～一九九九）になった時は、当クラブも異様な雰囲気から抜け出し、ともかくこのクラブを明るく楽しいクラブにしようという目指した時でした。実際の働きは各委員会が果たして、当クラブも新会員を勧誘できる状況になりました。

